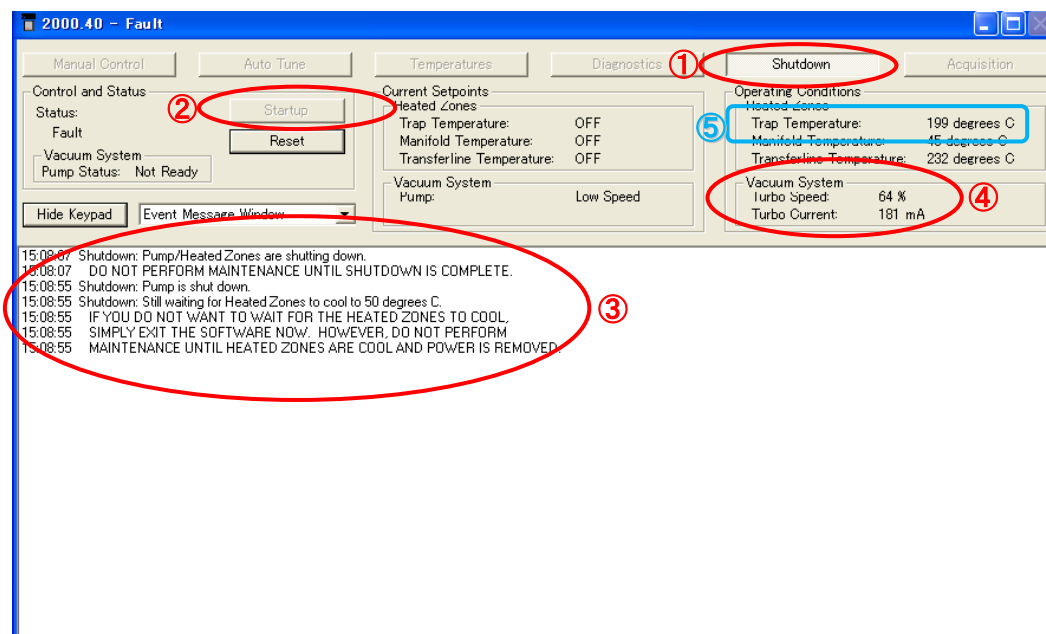


## Varian 製 Ion Trap GCMS の停止方法(対象: Saturn シリーズ、2X0MS シリーズ)

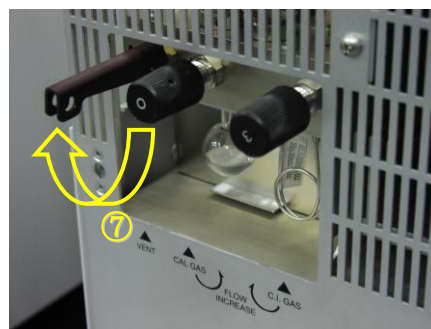
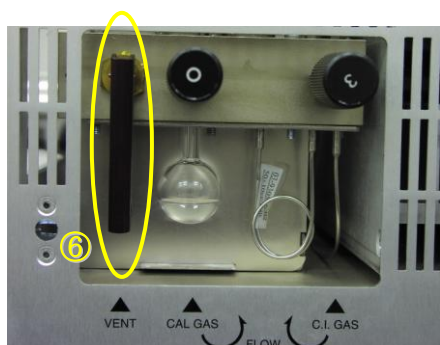
- ① MS ワークステーション内、MS をモニターしている画面を[Shutdown]画面に切り替えます。



- ② [Shutdown]ボタンを押します。
- ③ システムがクールダウンするまで待つようメッセージが出ます。
- ④ 自動的にターボポンプのスピードが落ち、Saturn で 65%、2X0MS で 80%程度で安定します。
- ④ GC のインジェクター、検出器、QSV、オーブンの温度を 50°Cに設定します。
- ⑤ そのまま Trap の温度が 50°Cまで下がるのを待ち、MS 本体背面の電源スイッチを切ります。



- ⑥ 背面の電源スイッチを OFF にした後 15 分以上たったら MS の前扉を開けます。  
大気開放用の Vent レバーが見えます。



- ⑦ Vent レバーを手前に引き上げ、大気を吸わせます。  
10 分程で Manifold 内が大気圧に戻りますので Vent レバーを元に戻します。
- ⑦ GC 本体の電源を切ります。
- ⑧ ガスの元栓を閉めます。

### 緊急停止が必要な場合

- ① [Shutdown]画面から[Shutdown]ボタンを押します。
- ② ターボスピードが落ち、Saturn で 65%、2X0 シリーズで 80%程度で安定したら Trap の温度が下がるのを待たずに MS 背面の電源スイッチを切ってください。
- ③ GC の電源を切ってください。

※Vent レバーは開かなくて構いません。GC 側から少しずつ大気が入ってきます。

※次回立ち上げ時に Trap のメンテナンスをされる場合には Vent レバーを開き、大気の吸入が起こっていないことを確認してください。

吸入されている場合には Manifold を開けてのメンテナンスはできませんので、レバーを 10 分程度開けてから Trap、フィラメント等のメンテナンスを行ってください。